第１号様式

奨 学 金 貸 与 申 請 書（ 高等学校等奨学生:緊急採用 ）

奨学金種類	01　高等学校奨学金							
学校名	※ 全・定・通	学　校 コード		学科名	科	学年		※ 昼・夜
氏名	ﾌﾘｶﾞﾅ			生年月日	元　号	年	月	日
					平成			

家族住所	〒　　－	ﾌﾘｶﾞﾅ　ｶｺﾞｼﾏｹﾝ		
	住所コード	鹿児島県		
	アパート名（マンション）部屋番号		携帯電話	－　　－
			固定電話	－　　－
本人住所	〒　　－	ﾌﾘｶﾞﾅ		
	住所コード	※　自宅・学生寮・下宿・その他（　　）		
	アパート名（マンション）部屋番号		携帯電話	－　　－
			固定電話	－　　－
※　通学区分	自宅通学　・　自宅外通学			
貸与開始から卒業までの正規の修学期間	令和　　年　　月　から 令和　　年　　月まで（　　年間）			

同一生計の家族状況（**別居者の番号を〇**で囲み，専修学校在学中の者については高等・専門課程の別を明記）

別居者に〇	続柄	氏　　名	年齢	所得の種類	在学学校 ※設置別	在学学校 学校名	在学学校 学年	※生徒・学生の通学方法	現在受けている又は予約している奨学金の団体名
1	父				－	－	－	－	－
2	母				－	－	－	－	－
3	本人				国・公・私			自宅・自宅外	
4					国・公・私			自宅・自宅外	
5					国・公・私			自宅・自宅外	
6					国・公・私			自宅・自宅外	
7					国・公・私			自宅・自宅外	
8					国・公・私			自宅・自宅外	
9					国・公・私			自宅・自宅外	

注①　※印の欄は，該当するものを〇で囲むこと。
注②　「住所コード」欄は，別添「住所コード一覧」を参照し記入すること。
注③　**「学校名」欄は，“ ◎◎市立〇〇中学校，△△専修学校（専門課程），□□高校，”など正確に記入すること。**
注④　**「貸与開始から卒業までの正規の修学期間」欄は，看護学科の場合５年間，通信制・定時制の場合４年間**

＊　ご記入いただいた情報は，奨学金以外の目的には利用されません。

緊急採用申告欄	申請理由に該当するものを○で囲み，家計急変等の事由が生じた日を記入すること。 １　家計急変等の事由 ア　家計支持者の死亡　　イ　家計支持者の離別　　ウ　家計支持者の離職 エ　家計支持者の破産（破産申立中を含む） オ　震災・風水害・火災等の被害による収入減又は支出増　　カ　その他突発的な事由 キ　年度中途の入学　　（　　） ２　家計急変等の事由が生じた年月日　　令和　　年　　月　　日 ※　家計急変等の事由で「キ」を選択した者は，入学年月日を記入すること。

家族の生活状況及び奨学金を必要とする理由

特別控除等の申告欄	障害のある人のいる世帯（１級～３級）注①	障害等級【　　種　　級】（障害者手帳等の写しを添付） 知的障害【　　】（療育手帳等の写しを添付）
	長期療養者のいる世帯	病　　名【　　】 療養期間【　　】 療養場所【　　】 療養に要する年間支出額【　　万円】 〔・医師等の診断書（原本） ・長期療養による年間支出額(別紙様式3－1)及び領収書の写しを添付〕
		【病状】
	主たる家計支持者が別居している世帯（単身赴任等）	別居の理由〔　　〕 単身赴任等に要する年間支出額【　　万円】 〔・単身赴任等による年間支出額(別紙様式4)及び領収書の写しを添付〕
	震災，風水害，火災，その他の災害又は盗難等の被害を受けた世帯	被害の種類【　　】 被害発生時期【　　】 被害内容【　　】 〔・り災証明書の写し ・被害額を証明する書類を添付〕

※該当する場合はいずれかを○で囲む。		市町村民税課税状況	非課税　・　減　免
生活保護受給世帯	世帯分離　・　同一世帯	児童養護施設	施設退所　・　施設通学

貴財団の奨学生として採用の上，奨学金を貸与してくださるよう申請します。

令和　　年　　月　　日

本　　人　　氏　名　　㊞
（本人自署）

保　護　者　　住　所
（保護者自署）

氏　名　　㊞

〔単身赴任等別居者〕注②　　住　所

公益財団法人鹿児島県育英財団理事長　殿

注①　「障害のある人のいる世帯」における特別控除は，１級～３級までの該当者が対象
注②　「単身赴任等別居者住所」については，主たる家計支持者が単身赴任等で別居している場合に，別居先の住所を記入すること。